

アンケート結果の概要と
その対応について

平成22年8月

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

はじめに

1. アンケート実施の目的

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構（以下、OIST）では、国が行う行政改革の一環としまして、原則として一般競争入札により調達を行って参りました。今後もより多くの皆様に入札参加をいただき、今後の改善策を検討する上での貴重なご意見をいただきたく、競争入札に参加されている皆様にアンケートを実施するものです。

2. アンケート方法

(1) アンケート対象：

平成21年度のOISTの競争入札に参加した機関、または平成22年5月末現在でOIST電子入札システムへの利用者登録をしている175機関

(2) アンケート期間：

平成22年5月24日～平成22年6月3日

(3) アンケート方法：

ファクシミリにより実施。

(4) 回答機関数：104機関

3. アンケート結果

質問1：入札公告ホームページについて

(問1-1) OISTの入札公告掲載ページの見やすさについてお尋ねします。

以下の①～③からいずれか一つお選び下さい。

- | | |
|---------|----------|
| ①わかりやすい | 39件（37%） |
| ②ふつう | 58件（56%） |
| ③わかりにくい | 7件（7%） |

（「わかりにくい」の主なご意見）

—検索方法がわかりにくかった。

(問4-1) 仕様書についてお尋ねします。

以下の①～③からいずれか一つお選び下さい。

- | | |
|----------|-----------|
| ① わかりやすい | 22件 (22%) |
| ② ふつう | 58件 (58%) |
| ③ わかりにくい | 20件 (20%) |

(問4-2) 上記問①で「③ (わかりにくい)」を選択いただいた方にお尋ねいたします。具体的にどのようなところがわかりにくいかを以下よりお選びください。(いくつでもお選び下さい)

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| ① 仕様書だけでは、業務の内容を具体的に理解できないものがある。 | 14件 |
| ② 求められる成果物、受注範囲、受注の条件等が不明瞭なものがある。 | 8件 |
| ③ 要求内容が厳しすぎる。 | 3件 |
| ④ 事実上、特定の業者やメーカーに偏った内容のものがある。 | 5件 |
| ⑤ その他 | 2件 |

(「その他」の主なご意見)

—英文仕様書もあるので。

質問5：入札説明書の交付について

(問5-1) 入札説明書についてお尋ねします。

(1) 交付時期について

- | | |
|--|-----|
| ① 早すぎる (公告掲載から何日目がよいか具体的にお書き下さい (日目)) | 0件 |
| ② ふつう | 98件 |
| ③ 遅すぎる (公告掲載から何日目がよいか具体的にお書き下さい (日目)) | 3件 |

(問5-2)

(2) 交付場所・交付方法について

- | | |
|-------|-----|
| ① よい | 33件 |
| ② ふつう | 65件 |
| ③ わるい | 4件 |

(問5-3) 入札説明書についてお尋ねします。

(3) 上記で(2)で「③ (わるい)」を選択いただいた方にお尋ねいたします。具体的にどのようなところがわかりにくいかをご記入ください。

(主なご意見)

—調達対象別に期間は違って良いと思う。

—電子システムにて全てが事務処理できるようにして欲しい。

—ホームページからダウンロードできると尚良い。

- インターネットでの閲覧、受領が出来ないのは厳しい。
- 入札説明所と図面は、一緒に交付してほしい。

質問 6 : 入札及び開札の時期について

(問6-1) 入札および開札の時期についてお尋ねします。

- | | |
|---|------|
| ① 早すぎる (公告掲載から何日目がよいか具体的にお書き下さい
(14、20、21、45 日目) | 12 件 |
| ② ふつう | 87 件 |
| ③ 遅すぎる (公告掲載から何日目がよいか具体的にお書き下さい (14 日目) | 2 件 |

(「早すぎる」の主なご意見)

- 調達別に必要な期間、日数を決めた方が良いと思う
- 内容の豊富な技術提案と見積を実施するため (早すぎる、50 日前)
- 十分な生産時間が必要 (早すぎる、45 日前)
- 手続きに期間を要する (早すぎる)
- 提出資料の準備期間が必要。(20 日前)

質問 7 : 契約条件・応募要件について

(問7-1) OIST の行う調達の契約条件・応募要件についてお尋ねします。

- | | |
|----------|------------|
| ① ちょうど良い | 22 件 (22%) |
| ② ふつう | 72 件 (71%) |
| ③ 厳しすぎる。 | 7 件 (7%) |

※ 厳しすぎる場合、その理由を具体的にお書きください。

(「厳しすぎる」の主なご意見)

- 調達内容によって要件等変化があってもよい。
- むしろもう少し厳しくても良い。
- 技術者の資格要件のうち施工実績を撤廃または緩和して欲しい。
- 同種事業の実績要件のハードルが高い。
- 入札の条件が厳しい。
- 生物・化学系研究実験施設、特殊な病院等の施工経験を持つものがたくさんおらず、発注時に他工事に従事していることが多いため。
- 配置予定技術者の条件が厳しい。

質問 8 : 契約条件・応募要件について

(問8-1) 国の競争参加資格登録をしているにも関わらず、過去、入札や企画競争に参加しなかった(できなかった)際の理由についてお聞きします。(複数回答可。最大5つまでお選びください。)

- 1 公告の告示を知らなかったため。
- 2 入札公告の件名だけでは契約内容がイメージできず、御社の業務と合うかどうか判断がつかなかったため。
- 3 入札告示の期間が短かったため。
- 4 希望する案件がなかったため(御社の業種と合うものが少ない)。
- 5 提案書等の資料提出までの締め切り期間が短かったため。
- 6 資格要件等、参加のための条件が厳しかったため。
- 7 入札(企画競争)の手続きが煩雑なため。
- 8 必要な人員(技術者等)の確保ができなかったため。
- 9 利幅が小額と見込んだため。
- 10 参加しても受注できる見込みがないと判断したため。
- 11 資料作成等の経費負担が大きかったため。
- 12 仕様書がわかりにくく求められる成果物、審査基準等が不明瞭であり、受注しても契約を履行できるか判断がつかなかったため。
- 13 仕様書の調達範囲がわかりにくく経費の精算が立てられなかったため。
- 14 仕様書の内容から事実上、受注できるものが限定され受注困難と判断したため。
※具体的な案件があればお書きください
- 15 技術者、管理者の資格要件が厳しかったため。
- 16 同種事業の実績要件(過去の受注実績等)が厳しいため。
- 17 再委託に関する要件が厳しいため。
- 18 入札参加に必要な競争参加資格と御社の競争参加資格が合わないものが多いため。
- 19 説明会の開催がなく、発注範囲に不安を感じたため。
- 20 発注ロットが大きすぎるので、事実上大手しか受注困難と判断したため。
※具体的な案件があればお書きください
- 21 事業全体を包括的に一括受注しなければならず、受注困難と判断したため。
※具体的な案件があればお書きください
- 22 業務引継、準備時間が短い(もしくは無い)ため、参入困難と判断したため。
※具体的な案件があればお書きください
- 23 説明会に参加又は仕様書の取り寄せはしたが他の業務と重なったため。
- 24 納入期限・履行期限が短いため。
- 25 単年度での契約であるため、長期的な収支予測ができず、参入するにはリスクが高いため。
※具体的な案件があればお書きください
- 26 ペナルティが厳しいため。
- 27 支払い条件が厳しいため。

28 OIST の職員の対応が悪いため。

29 その他、何かお気づきの点があれば記入下さい。

(回答の主なものは次の通り)

告示の方法を知らなかったため (1)	34件
希望する案件がなかったため(御社の業種と合うものがすくない) (4)	29件
必要な人員(技術者等)の確保ができなかったため。(8)	27件
参加しても受注できる見込みがないと判断したため。(10)	24件
資格要件等、参加のための条件が厳しかったため。(6)	21件

4. OIST の改善策

改善策1 (Webにおける調達情報の提供方法の改善)

対応するアンケート項目：質問1、質問5、質問8

アンケートの実施時点では、すでに「入札情報公開システム」が稼働していましたが、入り口がわかりにくく、機構ウェブサイトのトップページからアクセスしづらいとの意見があったため、ウェブサイトの構成を見直し、アクセス性を改善します。リリース時期は平成22年8月を予定しています。

改善策2 (十分な公告期間の確保)

対応するアンケート項目：質問2

企画提案書等の提出を求める総合評価落札方式及び企画競争等については、20日間以上の公告期間を確保することとします。

それ以外の案件についても、原則として開構日で10日間以上の公告期間を確保することとします。

改善策3 (仕様書の改善)

対応するアンケート項目：質問4

仕様書における業務内容の具体化・明確化及び実績要件、資格要件の緩和について、周知徹底を図って参ります。

以上、アンケートの結果及び、それに関する OIST の改善策とさせていただきます。今後とも、OIST への入札へのご参加どうぞよろしくお願い致します。